

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第112回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第112回：2022年10月21日（金）10:00～11:40

2. 場所 Web開催（Webex）

3. 出席者

（出席委員）牟田主査，桐本副主査，橋本（和）幹事，佐藤（吉），栗坂（西野委員代理），  
岩谷，高橋（拓），竹次，橋本（望），池田，寺島（佐藤（輝）委員代理），  
三橋，塩田，小森（14名）

（常時参加者）久保，不破，根岸，東，友澤（5名）

（委員候補）喜多

（敬称略）

4. 配布資料

P4SC-112-1 人事について

P4SC-112-2 講習会・今後の進め方について

P4SC-112-3 講習会資料構成案

P4SC-112-4 標準委員会倫理教育に関する資料

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員14名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また，配布された資料が確認された。

(2) 人事について

資料P4SC-112-1により，齋藤委員の退任，城島常時参加者の登録解除が報告された。また，喜多委員候補（東京電力ホールディングス）が新たな委員として承認された。

(3) 内的事象L1PRA基準・指針の講習会について

資料P4SC-112-2及びP4SC-112-3により，発行された内的事象L1PRA基準・指針の講習会について審議を行った。主な議論は次のとおり。

・今回のセッション構成では，午後のセッションの時間に余裕がなくなることも考えられるため，昼休みの時間設定等も勘案の上，時間割を検討する。質疑については，講習最後の全体質疑に限らず，各セッションの後にも受け付けるものとする。

- ・講習参加者は、従前の標準では PRA 初心者も視野に入れていたが、今回の基準・指針による構成では難しい面もある。他に PRA 講習なども整備されてきていることから、ある程度 PRA については心得がある参加者レベルを想定し、初心者向けとしては可能な範囲とする。また、従前の標準からの要求事項の改定点のまとめを午前のセッションで行う。
- ・講習資料の構成・定型部分は P4SC-112-3 に原案があり、資料整備ではこれらの確認・必要な修正及び各規定の詳細解説の追加を主に行う。参考として従前の講習資料も講師候補まで案内する。
- ・講師候補は前回講師と同様の分担とし、今後の都合等あれば適宜調整していく。
- ・講習資料準備等を勘案し、講習会は年明け 1 月の 16 日週から 23 日週での開催を目途に、学会事務局と調整していく。
- ・講習会の今後のあり方については、ユーチューブなどによる動画配信も視野に別途検討が進められていることから、今回の講習会は web 開催を念頭にして準備する。

#### (4) 今後の分科会の検討について

5 カ年計画に基づき、今後の分科会の検討方針について審議を行った。主な議論は次のとおり。

- ・標準の改定判断は、最新知見のレビューを定期的に行うことでルーチン化していくことを検討する。5 カ年計画の年更新でも最新知見の有無を合わせて調査することとなっており、これらの流れと整合した無駄のない進め方とする。パラメータ推定実施基準が次の改定対象であり、これを例として文献収集の方策・調査方法等を具体化していく。対象文献としては、リスク部会など学会内での調査結果、国内研究機関からの論文、ASME/ANS 標準など海外標準・文献などを考慮する。
- ・来年度予定の従前標準の廃案可否検討の一環として、今回講習会参加者を対象に後日アンケートをお願いすることで、講習会案内での協力依頼を検討する。廃案可否は、分科会内での意見集約と合わせて判断していく。
- ・次回分科会は、講習会后それ程間を開けない時期とし、具体的な日程は改めて調整とする。

#### (5) 今年度倫理教育

資料 P4SC-112-4 により、委員を対象に今年度の倫理教育を実施した。倫理委員会委員長の講習ビデオについては、別途委員まで案内する。

以上